JEAS News

Vol. 44

2026 春号

協働防犯への研鑽　4連続特別セミナー特集

…防犯民主主義実現の旗の下　和らぎの心　…

工業会
日本万引防止システム協会
認定個人情報保護団体

3.11より15年 現地で学ぶ
復興支援 ～共に生きる～
第3回ファミリーセミナー特集

The Japan Industrial Association of Electronic Article Surveillance machines

●なるほど!万引防止・ロス対策情報は JEAS Facebook

●月2回定期配信
ロス対策メールマガジン

カメラ設置&施設警備

ランサムウェア対策

小売業データサイエンス

AI事業者ガイドライン

4カ月4連続特別セミナー

～防犯民主主義実現に向けて～
EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会

認定個人情報保護団体
工業会 日本万引防止システム協会

JEAS News 第44号　2026 春号

協働防犯への研鑽　４連続特別セミナー特集

…防犯民主主義実現の旗の下　和らぎの心　…

目　次

EAS、カメラ分野を担当する工業会として ………… 表紙裏
あいさつ　工業会 日本万引防止システム協会　会長　稲本　義範 ………… 3
あいさつ　総務省 総合通信基盤局 電波部電波環境課　課長補佐　川上　慎史　様 ………… 4
あいさつ　個人情報保護委員会事務局　企画官　長沼　裕史　様 ………… 5
あいさつ　国土交通省 鉄道局 総務課危機管理室　危機管理室長　橋本　真和　様 ………… 5
あいさつ　経済産業省 商務情報政策局 情報産業課　課長補佐　籠　寛之　様 ………… 6
４連続特別セミナー特集 ………… 7
第５回科学保安検定講習会とマクニカ社 Oosto を推奨顔認証システム No.007に認定 ………… 9
福岡県「MUSUBU 宮若」見学ツアー ………… 10
防犯力強化の集い！　in Osaka !! ………… 10
第７回宵カフェ開店　熊対応などを検討 ………… 11
3.11より15年 現地で学ぶ復興支援 ～共に生きる～第３回ファミリーセミナー ………… 11
新会員あいさつ　株式会社マクニカ ………… 15
理事会15分勉強会 ………… 15
セキュリティショー2026　３月３日（火）～６日（金）ブースとセミナー ………… 16
ロス対策士情報と JEAS 報奨制度について ………… 17
工業会 日本万引防止システム協会のご案内 ………… 17
木村最高顧問就任のごあいさつ　編集後記・事務局長だより ………… 18
工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧・組織図 ………… 裏表紙
工業会 日本万引防止システム協会 会員名簿一覧　ご相談窓口について ………… 裏表紙

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明
[分野：電子商品監視機器（EAS)、防犯カメラ] に関するお知らせ

（１）2017年度税制改正により、中小・小規模事業者の「攻めの投資」を後押しするため、従来の産業競争力強化法に基づく「中小企業投資促進税制の上乗せ措置」を改組し、中小企業等経営強化法に基づく「中小企業経営強化税制」が創設されました。

（２）また、中小企業等経営強化法に基づく「固定資産税の特例措置（地方税)」においても、対象設備細目が2017年４月１日から拡充されました。

（３）当協会としては、ユーザー様及び会員の要望に応えるため、さらには「攻めの防犯」と「防犯民主主義」※を推進するために、2018年１月25日の理事会承認を経て2018年２月１日より本証明書の発行受付をスタートしました。

※「攻めの防犯」と「防犯民主主義」の説明 http://www.jeas.gr.jp/pdf/20180307.pdf

（４）なお、中小企業経営強化税制につきましては、2027年３月末日まで延長されています。
詳しくは工業会ページをご参照ください。http://www.jeas.gr.jp/intro08.html

JEAS Facebook も絶賛公開中！
https://www.facebook.com/JEAS.JAP

通常総会あいさつ

協働防犯への研鑽　４連続特別セミナー特集
…防犯民主主義実現の旗の下　和らぎの心…

工業会 日本万引防止システム協会　会長　稲本　義範

いつも大変お世話になっております。新たな年が始まり、１ヵ月が過ぎました。

日頃より、店舗の防犯システム、ロス対策、店舗警備などに携わる皆様には、各種万引防止システムや防犯カメラなどの防犯機器をご活用いただき、厚く御礼申し上げます。

お蔭さまで、2002年に設立されたJEASは、2018年に経済産業省よりEASおよび防犯カメラ分野の工業会として認定を受け、2020年には個人情報保護委員会より認定個人情報保護団体としての認定を受けるなど、万引防止システムに携わる多様な企業が参画する産業団体へと成長してまいりました。加えて昨年はHOUSEI（株）と（株）ボックス・ワンとソフトバンク（株）や（株）マクニカという先進的な企業が新たな同士になったことは慶びにたえないものでした。

最近の犯罪情勢に目を向けますと、令和４年には、20年連続で減少を続けてきた全国の刑法犯認知件数が増加に転じました。令和５年に続き令和６年もさらに悪化し、とくに触法少年を含む青少年の検挙・補導人員は、令和４年比で36％増加しています。小売業の最新の不明ロス調査でも、平均ロス率は２年前の0.48％から0.71％へと上昇しています。

さらには、セルフレジ不正、インターネット等を通じた盗品売買の横行、組織的万引による高額被害事案や、匿名性・流動性の高い犯罪の増加など、犯罪の組織化・国際化・悪質化・サイバー化が一層顕著になってきています。自戒を込めつつ、実効性のある対処が急務であると痛感しております。

こうした状況のなか、昨年は「協働防犯への研鑽」を合言葉に、現場力向上のためのセミナーを積極的に開催して参りました。

第１の点として、理事会では毎回勉強会を実施するとともに、６月の総会では大プレゼン大会「JEAS AWARD 2025」を開催し、大きな成果を得ることができました。７月には第６回推奨顔認証システム検定、８月には経済産業省のご協力をいただき、第３回ファミリーセミナー『現地で学ぶ復興支援 ～共に生きる～』を福島県で開催しました。９月には第５回科学保安検定講習会をはじめ、毎月各種セミナーを開催しております。全国万引犯罪防止機構によるロス対策士検定についても支援させていただいており、結果として業界全体の底上げと会員間の交流、新たな取引機会の創出につながっています。

第２の点として、10月から始まる下期の戦術課題を「ロス率を推論できなければ対策は進まない。データサイエンス力も笑顔力も共に学ぼう」と定め、その実践に取り組んでいることです。総務省統計局の「社会人のためのデータサイエンス演習」受講を推進するとともに、10月には「店舗のカメラ設置標準例」と「店舗の制服警備（立哨・巡回・接遇）」に関するウェビナーを開催しました。11月には、警察庁サイバー警察局サイバー企画課のご協力をいただき、緊急ハイブリッドセミナー「サイバー空間の脅威に対処するための体制の構築及び人的・物的基盤の強化」を開催しました。12月には、イオン株式会社データイノベーションセンターより講師をお迎えし、「大手リテーラーのデータアナリティクス組織紹介」セミナーを開催しました。

さらに本年１月９日には、木村一輝弁護士を講師にお迎えし、『「AI事業者ガイドライン」準拠のセキュリティ対策＆「AI利活用ハンドブック～生成AI編～」』をテーマとしたハイブリッドセミナーを開催しました。３月にはセキュリティショー2026に出展するとともに、３月３日に特別セミナー「省人化店舗・セルフレジへの進化～セルフレジ利用に関する消費者意識調査報告書 初公開～」を開催することが決定しています。また、北海道大学においては、 EAS機器と医療機器との干渉試験を４機種で実施しました。さらには推奨顔認証システム検定や推薦製品検定も会員内外の皆様からご利用いただきました。

第３の点として、誰もが安全・安心を等しく享受できる「防犯民主主義」の実現に向けて、覚悟を持って臨む姿勢です。経済産業省指定のセキュリティ機器の工業会として、また内閣府個人情報保護委員会の認定個人情報保護団体として、法令遵守を第一義と考えつつも、法改正時の民主的プロセスに積極的に参画することこそが、より上位の使命であると考えています。私たちはこれを「JEAS永劫の使命」と呼んでおります。その一例として、適正取引の推進と生産性・付加価値向上に向けた自主行動計画を昨年12月に公表しました。これは、防犯システムにかかわる団体としては初の取り組みです。

本年のビッグイベントとして、第22回アジア太平洋小売業者大会（東京大会）が、10月７日～10日に東京国

際フォーラムで開催されます。展示会場での協力に加え、10月９日には、当工業会主催によるロス・プリベンション関連のセッションを500人規模で開催し、参加18か国の方々とロス対策や防犯に関する情報交換を行う予定です。これだけの規模のロス・プリベンション会議は、世界でも前例のない試みです。この世界会議を通じて、新たな防犯のネットワークと連帯を構築したいと願っております。
会議の詳細は、日本小売業協会の専用サイトをご参照ください。

６月５日は第25期を迎える通常総会と記念イベント第２回大プレゼン大会「職業専門家たちの新たな挑戦　汝、強みを知れ！」(仮題)、７月24日には第９回 JEAS 検定講習会の開催を予定しております。

JEAS は、防犯民主主義実現の旗の下、 EAS 機器・防犯カメラおよびロス・プリベンション推進のための工業会として、防災領域を含む「安全・安心な店舗施設づくり」の推進を通じ、流通業界の健全な経営と、青少年の非行防止や高齢者等の再犯防止に資するという産業的・社会的役割を果たしてまいります。今後とも、所轄官庁をはじめ関連諸団体のご支援を賜りつつ、店舗防犯システムや警備関係の皆様と連帯して活動を進めてまいります。引き続き、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

事務所
〒160-0004　東京都新宿区四谷1-6-1
YOTSUYA TOWER７階

あいさつ

総務省　総合通信基盤局　電波部電波環境課
課長補佐　**川上　慎史 様**

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

総務省は電波行政を担当しており、私が所属する電波環境課では、国民の皆さまに電波をより安全・安心して利用いただけるよう、電波の安全性に関する調査研究を行い、その成果を情報共有・啓発するなどの取組を行っています。

電波利用の高度化は進んでおり、５Ｇや IoT に加え、ドローンや無人ロボット、電気自動車をはじめとしたワイヤレス電力伝送（WPT：Wireless Power Transfer）などの技術の進展や普及が進んでおり、電波の安全性に関する取組の重要性はますます高まっています。そのような中、当省では昨年、情報通信審議会　情報通信技術分科会の下に電波有効利用委員会を立ち上げ、その中で電波環境分野の在り方に関する検討を行い、その成果として、電波の安全性に関する研究のロードマップの見直しなどを行いました。今後は、このロードマップに即して、電波の安全性に関する研究を進めていくとともに、その成果等を踏まえ、国民の皆さまにより分かりやすく正確な情報の共有や啓発にさらに努め、電波をより安全・安心に利用いただける環境を整えてまいります。

貴協会におかれましては、窃盗を防止・抑制するための万引防止システムの普及や発展といった、社会的に非常に意義のある取組に尽力されており、そのような中で、ペースメーカ等の植込み型医療機器などを使用されている方へも誠実にご配慮をいただいており、国民目線での取組を進められていることに敬意を表します。今後も、貴協会と連携できるところは連携し、より良い、住みやすい世の中を実現できれば幸甚でございます。

最後に、皆さまの益々のご健勝とご発展を祈念しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

あいさつ

個人情報保護委員会事務局
企画官　**長沼　裕史 様**

令和８年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

デジタル社会の進展やAIの急速な普及を始めとした技術革新、技術の社会実装により、個人情報の保護及びその利活用のバランスの在り方については重要な課題です。

国においては、データとAIが好循環を形成するデータ駆動社会を構築するため制度・システム・運用全体を再設計し、人口減を克服しWell-beingを達成するデータ駆動社会を実現していくため、令和７年６月に「データ利活用制度の在り方に関する基本方針」が閣議決定されました。当該基本方針においては、検討の視点として、①データ利活用による新たな価値の創造、②リスクにも適切に向き合いつつAI-Poweredな社会実現、③透明性・信頼性の確保（プライバシー、知的財産、安全保障等）の３つの視点を挙げています。データにはプライバシー等に関わる情報が含まれることも多く、その使い方によっては、プライバシー侵害や個人の差別など関係者への悪影響が生じます。データ処理が高度化・複雑化することでその実態が本人からも見えにくくなること等を踏まえ、個人が安心してデータを提供できるよう信頼が醸成される取組が必要です。

個人情報保護委員会では、これまで個人情報保護法の３年見直しの検討のためステークホルダーとの議論を継続的に行ってきました。これらの検討を踏まえ、本年１月９日に改正案の早期提出を念頭に「個人情報保護法　いわゆる３年ごと見直しの制度改正方針」を公表しております。制度改正方針は４つの柱としており、「①適正なデータ利活用の推進、②リスクに適切に対応した規律、③不適正利用等の防止、④規律遵守の実効性を確保のための規律」となっています（制度改正方針本体は個人情報保護委員会ホームページで公表）。

貴工業会においては、個人情報保護法に基づく認定個人情報保護団体に令和２年に認定されて以来、 JEAS個人情報保護指針（令和２年９月制定）を定められ、会員企業における個人情報の適正な取扱いの確保のために必要な措置等を示されるとともに、会員向けセミナーを開催するなど継続的に取り組まれていると聞いております。

貴工業会におかれましては、引き続き個人情報の適切な取扱いの推進を図るため、積極的な取組が行われていくことを期待しております。

最後に、皆様の益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

あいさつ

国土交通省　鉄道局　総務課危機管理室
危機管理室長　**橋本　真和 様**

この度は工業会日本万引防止システム協会様のご厚誼により、皆様にご挨拶をさせていただく機会をいただき御礼申し上げます。貴協会におかれましては、防犯カメラの設置・活用推進をはじめとする防犯・ロスプリベンション機器の高度化、運用指針の策定等を通じ国民生活における様々な場面での安全・安心の確保にご尽力いただいているところ、貴協会の防犯カメラに関する様々な課題に対する先進的な取組が大きなご貢献を果たしてきたことは疑いの余地もなく、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、鉄道分野では、近年も複数の大手私鉄における無差別傷害事案の発生などを受け、また、昨年開催された大阪・関西万博等の大規模イベントの円滑な開催に向けた諸準備の中で、安定輸送の確保と利用者の安全・安心を守るための施策をその時々の情勢や社会の要請も踏まえ推進しております。国民生活と社会・経済活動を支える重要な基盤である鉄道の安全・安心を確保することは極めて重要な使命であると日々その認識を強めているところです。

こうした施策の中で、特に防犯カメラは大きな役割を果たしています。令和５年には鉄道運輸規程を改正し、平均輸送密度10万人超（１日１キロ当たり）を走行する新造車両への車内防犯カメラの設置を義務づけたところですが、鉄道事業者各社ではこの基準を大きく超え、特に都市圏においては新造・既存の別を問わず基準を遙かに上回る車内防犯カメラの設置が進められています。また、機能面においても高度化が進み、リアルタイム通信機能の搭載やネットワーク化などが実装されつつあることに加え、 AIを用いた画像解析の活用に関する検証・実証等も積極的に行われています。こうした鉄道事業者各社の主体的・自発的な取組の拡大は、鉄道における安全・安心確保に対する社会的な要請の高まりが背景にあるものと推認され、私どもとしてもこれらの取組がさらに進展するよう支援してまいる所存です。

貴協会におかれましては、急速な拡大と高度化を続ける防犯カメラの活用について、プライバシーの保護や個人情報の適切な取り扱いといった課題も考慮しつつ、日々その先端的な活用の可能性の追求を進められていることにつき心より敬意を表します。国土交通省においては引き続き、車内防犯カメラの活用をはじめとする各種の施策を通じて鉄道利用者の安全・安心の確保に取り組んでまいりますので、今後とも貴協会のご支援・ご助言を賜れますと幸いです。

あいさつ

経済産業省　商務情報政策局　情報産業課
課長補佐（軽電、計測機器、制御機器　等　担当）**籠　寛之 様**

令和８年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

世界では米国の関税措置や各国による自国優先の大規模な産業政策の展開等により、新たな国際秩序が生まれようとしています。国内に目を向けますと物価高、人口減少、企業の国際競争力の低下等の課題がありますが、企業の賃上げや国内投資、株価は高水準にある等、明るい状況もあります。内外の情勢の変化を踏まえた機動的な対応が不可欠であり、経済産業省は今後も産業政策を緩めずに継続・発展させ、高市内閣が目指す「強い経済」の実現に努めていきます。

最優先課題である物価高への対応として、電気・ガス料金負担軽減支援の実施、中小企業の生産性向上等支援対策の強化等を実施します。また、経済安全保障の強化も重要であり、サプライチェーンの強靱化、 AI・半導体等の戦略分野への投資等の強化に取り組みます。さらに、新たな付加価値を生む成長投資の継続と高度化に向けた構造改革、好循環を生み出す賃上げの定着と中堅・中小企業の成長促進・地方創生による国民所得の拡大、不確実なグローバル環境と交易条件の悪化に対応するための強靱な経済基盤の構築等により高付加価値化に向けた成長投資の促進にも取り組んでいきます。

我が国の産業向上については、デジタル分野の活用が重要であると考えています。

成長戦略17分野の第１に AI・半導体が位置づけられております。生成 AI の急速な進化・活用に代表されるように、社会におけるデジタル化の重要性はさらに増しており、国内の開発力強化等の課題とも向き合いつつ、今後もさらに強化していきたいと考えています。我が国の産業の基盤となる半導体も世界から注目を集めて期待感は変わらず高まっております。これら AI・半導体については、経済安全保障及びエネルギー政策の観点から複数年度にわたり、大規模かつ戦略的に支援を行っており、 AI・半導体産業基盤強化フレームを活用して必要な支援を進めていきます。関連するサイバーセキュリティの強化等も引き続き進めていきます。

また、2050年カーボンニュートラルを目指した脱炭素世界の潮流はさらに強まっています。我が国はエネルギーの安定供給、経済成長を、脱炭素とともに一体的に目指した産業界の変革が求められています。政府として GX 推進戦略を基にした取組を後押ししていきます。

経済産業省は今後も様々な施策を講じて産業界の皆様と連携しながら、我が国の成長のために力を尽くしていく所存です。

貴工業会は、万引防止に効果のある防犯カメラ等の機器利用の推進等により、我が国の社会問題解決に大いに貢献いただき、大変喜ばしいです。また、スーパー・小売店等によるセルフレジ利用の拡大に伴うカメラ画像の AI 利用も進めているとお聞きしております。今後も「攻めの防犯」というスタイルの中で磨いてこられた高い精神性と技術力が、国が進める AI をはじめとしたデジタル技術利用により大きく開花し、世界から注目される業界に育っていくことを祈念しております。

さらに貴工業会は、昨年12月に率先して、中小受託取引推進のため「適正取引の推進と生産性・付加価値向上に向けた自主行動計画」を策定しました。非常に重要なことであり、ご尽力いただいたことに感謝しています。

本年もみなさん笑顔の下で、業界を牽引されていくことを心強く願っております。

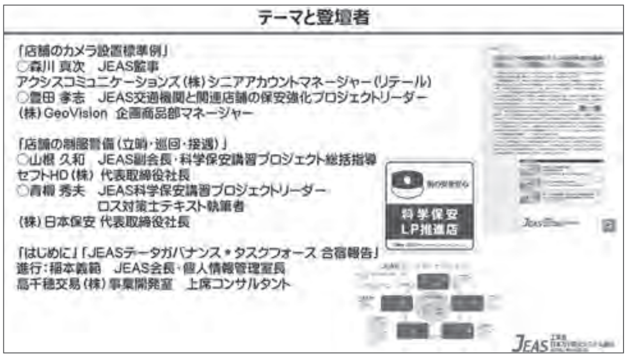
最後に、皆様の益々の御健勝と御発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

4連続特別セミナー特集

10月15日（水）「店舗のカメラ設置標準例」と「店舗の制服警備（立哨・巡回・接遇）」に関するウェビナーを開催しました。小売業の皆様や防犯関係者様など約60名の皆様にご参加いただきました。アンケート等より、科学保安・顔認証システム・万引行動検知＆セルフレジ不正検知などのニーズが高いことを再確認しました。総合小売業の方から「不審者判別の為の目をつけるべきポイント「予動作」等をわかりやすく紹介いただき、実際に事業所で活用できると思う。」のご意見をいただきました。ドラッグストアの方から「フレームレートの設定値と録画期間の関係が良かった。」など、多くの皆様から感謝のメッセージをいただきました。

アーカイブ動画の視聴 QR コード
https://forms.office.com/r/q1Bc0Jbzfw

最新資料（2026年２月６日）格納先
https://www.jeas.gr.jp/pdf/20251015.zip



参加者のアンケート・ご質問より抜粋

① 初めて参加させていただきましたが、「防犯」という明確な目的に向けて幅広い観点から総力挙げて活動されていらっしゃることがよくわかりました。ありがとうございました。ご発表された方の熱意が大変伝わってきました。関連団体様
② フレームレートの設定値と録画期間の関係が良かった。ドラッグストア様
③ 不審者判別の為の目をつけるべきポイント「予動作」等をわかりやすく紹介いただき、実際に事業所で活用できると思う。総合小売様
④ ロス・プリベンションのお話の中で、セルフレジの防犯の話がありましたが、弊社もカメラで、[redacted]などの被害があるのを確認しています。お伺いしたいのは対応方法です。セルフレジではお客様に商品登録してもらうため、故意ではないうっかりの登録忘れが発生します。故意かそうではないかの判別が瞬時には難しく、後に映像で確認して故意だとわかる状況です。故意の場合は何とかしたいと思っています。ディスカウントスーパー様
　・上記の映像がある場合、警察に被害届を出すことが可能でしょうか。
　・マークしている客が来て同じ行為を現認した場合、保安員が確保することは可能でしょうか
⑤ 警備面の内容があったのがよかったです。関心があったため。食品スーパー様
⑥ 顔認証の登録作業が店舗ではできないので、そういったパッケージがあると望ましい。ドラッグストア様
⑦ 今回セミナーは大変よかった。ドラッグストア様２社

作成責任者コメント

森川監事　アクシスコミュニケーションズ（株）

JEAS として作成する際に次の項目について考慮しました。

・ エンドユーザである小売業の皆様のため
・ 小売業の皆様が IT 企業と話をする際に必要な知識を簡単に
・ 防犯カメラ設置が価値ある投資になるために
・ 一瞬で企業存続に直結しかねないサイバーアタックの対応機能や諸規格準拠の必要性

この案は科学技術の日々進化するのにともない定期的なアップデートをしていく必要があります。

青柳科学保安検定プロジェクトリーダー　（株）日本保安

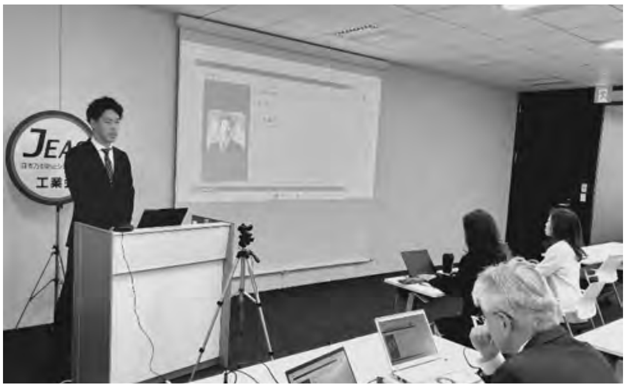
店舗では商品を手に取る事ができ（動機）店内の移動が可能（機会）であり様々な理由（正当化）から万引が発生します。インターネットの普及が転売目的の犯行を助長し、被害が増加傾向にあります。

店舗に設置されている高性能の防犯カメラを十分に活用できれば盗難被害を防止できると思われます。科学保安は万引実行者を検出し顔識別機能付きカメラに登録する事で再犯傾向を把握し対象者を安全確保します。AI技術を活用し、更に効果的かつ確実な対応をすることで次世代へのビジネスモデルが構築できると確信しています。

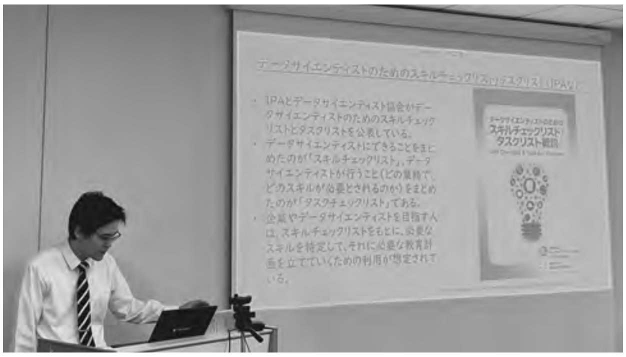
11月28日（金）に緊急ハイブリッドセミナー「サイバー空間の脅威に対処するための体制の構築及び人的・物的基盤の強化」と題するセミナーを高千穂交易セミナールームで開催しました。セミナーでは、サイバー空間における警察の取組やサイバーセキュリティ企業から被害防止策などが提示されました。セミナーでは、警察庁サイバー警察局サイバー企画課サイバー事案防止対策室の中川陽介課長補佐が「サイバー空間を巡る脅威の情勢と警察の取組」、高千穂交易BSC事業本部BS事業部サイバーセキュリティソリューショングループの小山大地グループマネージャーが「〝今どきのランサムウェア〟にどう備えるか？～日本初登場の「Halcyon」で実現する強固なセキュリティ対策～」、セコムトラストシステムズの山口早雄インサイドセールス２部部長が「セキュリティインシデントが起きる前に今何をすべきなのか？～サイバーセキュリティ教育とアタックサーフェス調査のススメ～」の順で講演が行われました。 セミナーでは、サイバー空間の脅威として挙げられる問題点や被害状況に加え、現代のサイバー攻撃から組織が被害を未然に防止するために必要な対策などが説明されました。

アーカイブ動画の視聴QRコード
https://www.youtube.com/watch?v=aOlYJqhzI4M

12月11日（木）ハイブリッドセミナー「大手リテーラーのデータアナリティクス組織紹介」を開催しました。講師はイオン株式会社データイノベーションセンターリーダー八木研一郎様が担当され、イオングループ約300社のデータサイエンス事例をご紹介いただきました。司会は当工業会のデータサイエンティストの高千穂交易（株）ビジネス事業本部BSCマーケティング戦略推進部RSチームの野口祥子さんと日向紗代子さんのママ友コンビが務め、約40名のご参加をいただきました。なお、本セミナーのアーカイブ配信は行っていません。



経産省「AI事業者ガイドライン」準拠のセキュリティ対策＆消費者庁「AI利活用ハンドブック～生成AI編」ハイブリッドセミナーが１月９日（金）15：30～16：40に開催され、約50名の皆様にご参加いただきました。会場は高千穂交易（株）セミナールーム。



木村一輝弁護士の講義
丸の内総合法律事務所
当工業会 最高顧問

セミナーのアーカイブ動画の視聴方法
https://forms.office.com/r/tTs6i8MX8x

JIPDEC の恩田様と Casley Deep Innovations の黒岩様の講義

昨年10月からの①「店舗のカメラ設置標準例」と「店舗の制服警備（立哨・巡回・接遇)」に関するウェビナー、②緊急ハイブリッドセミナー「サイバー空間の脅威に対処するための体制の構築及び人的・物的基盤の強化」、③ハイブリッドセミナー「大手リテーラーのデータアナリティクス組織紹介」、今回の④ AI 事業者ガイドラインセミナーの４か月連続のセミナーは終了となります。①と②と④はアーカイブにて視聴が可能です HP のニューススページまたは事務局にご確認ください。今後も継続し、協働防犯への研鑽を進めてまいります。

第５回科学保安検定講習会
…（株）マクニカ社の Oosto を推奨顔認証システム No.007認定 …

2025年９月25日（木）第５回科学保安検定講習会と推奨顔認証システム検定認定証の授与式が開催されました。

日時：2025年９月25日（木）13：00～17：10

会場：YOTSUYA TOWER７階　高千穂交易（株）セミナールームとオンラインの併用にて

目的：JEAS 推奨顔認証システムを使って、効果的かつ安全に保安業務を遂行（分析や会議報告も含む）し、併せて、JEAS 認定個人情報保護団体ページの各冊子を理解していただくことです。

受講：15名　※今までの受講者　第１回25名、第２回13名、第３回10名、第４回13名　計76名

挨拶：来賓として個人情報保護委員会事務局 企画官 長沼裕史様より「犯罪予防や安全確保のための顔識別機能付きカメラシステムの利用について」の講話をいただきました。

その他：講習会の冒頭で、推奨顔認証システム No.007に認定された（株）マクニカ社の Oosto の認定証と認定ステッカーの授与式が行われました。

福岡県「MUSUBU 宮若」見学ツアー

10月９日（木）−10月10日（金）に開催されたリテール AI 協会主催の福岡県「MUSUBU 宮若」見学ツアーに、当工業会から６名が参加させていただきました。現地で、トライアルホールディングス 永田会長より、PoC を続ける意義についての講話をお聞きしました。取組にはとても多くの学びがあり、今後もメンバーの見学を主催者の皆様にお願いしました。見学ツアーの意義については12月12日開催の JEAS 第４回理事会で報告いたしました。

JEAS 側参加者は次の６名（順不同　敬称略）でした。

株式会社アスタリスク　代表取締役社長　鈴木規之

株式会社三宅　専務取締役　田中崇

CIA　株式会社 次長　三明和也

NEC ソリューションイノベータ株式会社 主任　上野順子

株式会社杏林社代表取締役　清永浩史

工業会日本万引防止システム協会 会長　稲本義範

店頭告知

【防犯力強化の集い！】in Osaka!!

９月22日（月）【防犯力強化の集い！】in Osaka!! 2025年度防犯設備士更新講習会　関西地区開催にて、JEAS メンバーにて、「店舗と関連施設における万引防止機器＆カメラ＆顔認証＆不審動作検知の事例と設置と法令について」について講演を行い、関係者を含め約60名の方に参加いただきました。

※次回2025年度防犯設備士更新講習会　関西地区開催2026年２月24日（火）に予定されています。詳しくは大阪防犯設備協会のサイトでご確認ください。https://daibousetsu.com/

第７回宵カフェ開店　熊対応などを検討

11月19日（水）19時より JEAS ではオンライン・カフェ（第７回宵カフェ）を開催し、熊対策の AI カメラシステム活用（現状と課題）と防犯カメラ映像500件が海外サイト流出について情報交換しました。カフェマスターの JEAS 会長から、本日のメニューの紹介があり、くちあけに、ダイワ通信株式会社　執行役員　小西啓太氏が AI サーバーと防犯カメラを組み合わせた「クマ検知 AI カメラソリューション」の事例を紹介され、続いて高千穂交易株式会社　ビジネスセキュリティ事業部本部　三井茂生氏がクラウドベースのセキュリティカメラシステムを提供する Verkada の新機能「Animal Detection（動物検知）」と「特定人物のカメラの追跡機能」の説明を行いました。その他、アクシスコミュニケーションズ株式会社シニアアカウントマネージャー（リテール）森川真次氏を中心に防犯カメラ映像が海外サイトに流出している事案への対応策を話し合いました。

①　ダイワ通信　クマ検知 AI システム

②　高千穂交易　Verkada の新機能 MAP に回遊場所の自動記憶

3.11より15年 現地で学ぶ復興支援 ～共に生きる～第３回ファミリーセミナー

８月１日（金）に第３回ファミリーセミナー『現地で学ぶ復興支援 ～共に生きる～』を開催し、42名にご参加いただきました。「災害は再びやってくることを忘れてはいけない」という教え、協働で復興する姿を現地より学びました。

当日の様子

参加者全員がバスに乗り込み、出席確認をし、主催者挨拶「本日は、人はなんのために学ぶのか？を学ぶためのセミナーです。」の後、バスが発車しました。最初に経産省の大星室長より、今回のセミナーに関しての事前説明がありました。そのメモ一部を抜粋し、付記します。

皆さんは、福島県に訪れたことがありますか？　今日が初めてですか？

【福島県の大きさ】

福島県の大きさ３位（北海道、岩手に次ぐ大きさ）。茨城県の約２倍、東京都の約６倍。

【死者数】

東日本大震災は、2011年３月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震および、これに伴う福島第一原子力発電所事故による放射能汚染などによる、大規模な地震災害のことです。東日本各地での大きな揺れ、大津波・火災など全体で２万2,228人：死者数：18,131人、行方不明者2,829人、震災関連死2,335人（災害による負傷の悪化、避難生活のストレスなど）。

【避難者数】

東日本大震災の発災直後は、岩手、宮城、福島県を中心に約47万人でした。阪神・淡路大震災の際には最大32万人でしたが、現在は約24,000人以上の方が今も故郷を離れて、仮設住宅、親族・知人宅等に避難しています。仮設住宅入居者数は、2012年３月の11万6,565人が最も多かった時期です。

【東日本大震災の地震の大きさ】

マグニチュードは、地震の規模を表します。2011年の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）はマグニチュード9.0と国内観測史上最大規模の地震だった。深さ24㎞、三陸沖130㎞でした。

マグニチュードが1.0上がると地震のエネルギーは約30倍になり、マグニチュード８の巨大地震は、マグニチュード７の地震の30個分のエネルギーを持っているということになります。気象庁の震度階級は０から７までであり、震度５と６はそれぞれ強と弱に分けられるため、全部で10段階になります。

阪神淡路大震災（1995年）7.3、関東大震災（1923年）7.8、世界で最大はチリ地震（9.5）、地球上で発生が考えられる最大が10、12だとされています。

津波の速度はどれぐらいの早さかイメージできますか。時速36㎞オリンピックの短距離走とおなじぐらいの早さ100メートルで10秒　一般の人が走るスピードは10㎞、自転車で20㎞、カールルイスやジャマイカのウサインボルトさんと同じぐらいのスピードです。

【道の駅　なみえ】

2020年からプレオープンし、2021年からグランドオープンしました。浪江町の復興のシンボルとして、地域住民の暮らしを支え、新たなチャレンジを支える場所として誕生しました。

ポケモンのキャラクターであるラッキーがいます。なぜ選ばれたかというと「福島」の「福」が幸せを運ぶということからです。なお、ポケモンの作者の父親の出身地が浪江町だからだそうです。

福島県の有名なご当地Ｂ級グルメは？　浪江やきそばです。約50年前に考案されたとされています。通常の約３倍の極太麺でもちもちとした食感と、豚骨と魚介系の出汁をベースにした濃厚ソースが特徴の焼きそばです。お土産用としても販売されているのでご覧いただければと思います。

DO 浜通りというポイント還元イベントを実施しています。ｄ払い、ペイペイ、楽天ペイ、 auPAY は20％ポイント還元となります。ニンテンドースイッチが当たるイベントを実施。本館となりわい館で両方買い物をして合計2,000円になると応募可能となります。

【富岡町】

東京電力廃炉資料館：2018年に、東京電力が、原子力事故の記憶と記録を残し、二度とこのような事故を起こさないための反省と教訓を社内外に伝承するための施設として開設。元々はエネルギー館として、東京電力の原子力発電所の PR 資料館であったもの。アインシュタイン（相対性理論が原子のエネルギーを利用する根拠）、キュリー夫人（放射能の研究で有名：ウランよりも強い放射能を持つラジウムを発見）、エジソン（電気の専門家として発明王として有名）の生家がモデルとなっています。

未だに原子炉の中には燃料が固まって残っており取り出す作業が進められています。今後本格的に取り出すのに12から15年程度必要ということになっているので、2030年代後半から取り出し、完全な廃炉は2050年頃という長い期間になっています。

【最後に】

どれほどの被害が生じたのか震災が発生した際に生まれていなかった皆さんは想像が付きにくいと思います。ぜひ今回のツアーで東日本大震災がどういった災害をもたらしたかを学んでいただければと思います。

なお、東日本大震災では東京電力福島第一原子力発電所の事故が起こりましたが、今回のツアーにおいて放射線の問題はまったくございませんのでご安心ください。

午後の浪江町の案内について、経産省から派遣されている福島県双葉郡浪江町役場　企画財政課政策推進班

下地和希様が担当されました。15m の高さまで津波が押し寄せた請戸小学校や大平山霊園を訪れ、参加者自身の目でそれを確認しました。下地様からは後日、追加の情報をいただきました。

お世話になっております。浪江町役場政策推進班の下地でございます。先日は浪江町までお越しいただき誠にありがとうございました。

ご参加の皆様にとって、少しでも浪江町や福島の復興について知る・考えるきっかけとしていただければ、大変嬉しい限りでございます。また、今回は主に沿岸部を中心にご視察いただきましたが、その他にも、浪江町では現在、隈研吾氏のデザインによる浪江駅周辺整備事業や、福島国際教育研究機構の立地に伴う浪江駅西側地区整備事業など、まだまだ多くのプロジェクトが進行中でございます。

どちらも浪江町の復興をより加速させる事業として、非常に期待されている事業です。令和10～12年度の完成に向けて工事が開始されたばかりですが、これらが完成すると、町の様子もまた大きく変わってくると思います。ぜひ、今後とも浪江町をはじめ、浜通り地域にも足を運んでいただけますと幸甚に存じます。引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。

（ご参考）

【浪江駅周辺整備事業】
・浪江駅東側に、商業施設や交流施設、公営・民営住宅等の整備を予定しております。

【浪江駅西側地区整備事業】
・浪江駅西側にて、福島国際教育研究機構（F-REI）を中心とした、公民連携によるまちづくりを進めていく予定です。

帰りのバスの中で、全員が今回の感想を話し合いました。セミナーに参加してはじめて知ったことがいくつもあった。廃炉には長い月日がかかること、そのために多くの方々が尽力されていること、災害は再びやってくることを忘れてはいけないという記念碑があること、なみえの道の駅の方々が親切に対応してもらったこと、311の時のことを思い出し感極まる方、などなど一つとして同じ感想はありませんでした。他参加者の意見をみんなでうなずきながら聴いている姿が印象的でした。参加者の感想の一部を付記します。

改めての感想を送らせて頂きます。福島には子供のころから遠足やキャンプ、スキーなどで行くことが多かったですが震災あとは足が遠のいていたのが正直なところです。災害の痛ましさを改めて目の当たりにして、改めて考えさせられました。平和に暮らせる日常に感謝し、自分たちにできることをやっていかなくてはと当たり前ですが感じました。大人も子供もそれぞれ学びを得たと思います。貴重な機会を頂き、本当にありがとうございました。

今回は、福島でのセミナーに参加させていただきありがとうございました。東日本大震災のことは学校でも習いましたが請戸小学校を訪問して、津波がこんなに高いところまでこんな強さできたのかと驚きました。僕は、中学校でものつくり部に所属していて将来は人の役に立つロボットを作ることが夢です。原発の廃炉作業のような危険な作業にもロボットが使われていることを知りました。これから大阪万博にも行くので、いろいろな技術を見て自分のやりたいことを考えていきたいです。（中１）

私は、廃炉記念館で、原発事故がどのようにして起きたのかに関心を持ちました。また、今までに回収できた燃料デブリの量の少なさに驚きました。いつ廃炉作業が終わるのか、時間が無限にかかりそうな気がしました。私はまたこのようなことをおこさないために、原子力発電に代わる他の再生可能エネルギーがつくられることを祈ります。他にも、福島に行く少し前に能登半島の被災地を見学しましたが、能登は津波が４m、福島は15m と大きさの違いを実感しました。自分の地域での防災に参加し、自然災害が起きないようにエコな生活も大切にしていきたいと思います。（小５）

今回は、参加させていただきありがとうございました。なみえやきそばがおいしかったです。わたしは、つ波のきた小学校が心にのこりました。つ波にたえられる高いたてものをつくれたらいいなと思いました。（小２）

新会員あいさつ

●新規正会員

株式会社マクニカ　カスタマーサクセス室

株式会社マクニカは、創業以来、「足下に種を蒔き続ける」を企業理念に掲げ、世界中の革新的なテクノロジーを日本市場へ届けることで、社会に新しい価値を創造してきました。半導体、ネットワーク、AI、セキュリティなど幅広い分野で、グローバルパートナーとの連携を通じて、未来を切り拓くソリューションを提供しています。

Oosto の AI 顔認証ソリューション「OnWatch」は、リアルタイムでの要注意人物の検知と警告通知、対象者のトラッキングを可能にする AI プラットフォームです。人手不足な施設警備の業務を効率化、そして高度化を実現します。既にオフィスビルや商業施設で活用頂いており、「安全性の強化」と「運用コストの削減」を両立するソリューションとしてご評価頂いております。マクニカはお客様の課題ヒアリングから現場検証、PoC、導入支援まで伴走でサポートさせて頂きます。

マクニカ AI 事業：https://www.macnica.co.jp/business/ai/

Oosto：https://www.macnica.co.jp/business/ai/manufacturers/oosto/

理事会15分勉強会

・９月19日（木）（株）市川ビル取締役 長田泰文様より「災害を乗り越えての営業再開、感謝と学び」についてご説明いただきました。
　これに先立ち、８月26日（火）に同社代表取締役 田平和精様に特別功労感謝状を進呈しました。

・12月12日（金）Beesmile のデモンストレーション（43インチのたて型のデジタルサイネージ）を使った「笑顔測定ランキングシステム」のご紹介の講師は（株）アーツエイハン 代表取締役の飯塚吉純様に行っていただきました。次にネクストウェア（株）DX・AI 推進本部の福田幸一様に「劇場用来場者100名の複数感情測定システム」の活用事例をご紹介いただきました。

・２月６日（金）ソフトバンク（株）の IoT& プラットホーム本部サービスデザイン統括部 AI 映像サービス部セールスプロモーション課課長 佐藤大志様よりクラウド録画サービス LINE WORKS Vision をご紹介い

ただきました。
※理事会勉強会は毎回16時から開催します。オンラインでも視聴が可能です。会員外であっても事前に事務局にご連絡いただければ視聴が可能です。

セキュリティショー2026　3月3日（火）～6日（金）ブースとセミナー

セキュリティショー2026　3月3日（火）～6日（金）に出展し、特別セミナーを開催します。写真は展示予定の正会員パネル一覧です（2026年1月17日時点）。

JEAS特別セミナー

演題　省人化店舗・セルフレジへの進化　セルフレジ意識調査報告書公開
概要　工業会 JEAS より、「省人化店舗・セルフレジへの進化～セルフレジ利用に関する消費者意識調査報告書初公開～」をお伝えします。セルフレジ利用のアンケート調査に加え、あの気になる店舗の最新 DX・AI 取り組み事例とその成果を発表します。
場所　東京ビッグサイト第7ホール　特別ステージ
日時　３月３日（火）15：10～16：10（60分）
申込　日経セキュリティショー2026サイトにて　　https://messe.nikkei.co.jp/ss/

演題及び登壇者

①セルフレジ利用に関する消費者意識調査報告書の解説
近江　元（司会）
工業会 日本万引防止システム協会（JEAS）副会長・総務委員会委員長
②小売業の店舗運営省力化・無人化の入店ソリューション
HOUSEI 株式会社　プロダクト事業室　古市　健
（当工業会 DX 推進プロジェクト委員会　委員）
③『Verkada』～ AI 技術を活用、店舗防犯の DX 化を実現～
高千穂交易株式会社　リテールソリューション事業部・チームマネージャー　鏡沼則人
クラウド型統合セキュリティプラットフォーム「Verkada」をご紹介します。最新の AI 技術を活用したカメラ画像検索機能や各種認証技術など、セキュリティ機器運用の省力化・付加価値の創出を実現するソリューションについて、具体的な活用事例を交えて発表します。
④モノ認識技術を用いた省人化、セルフレジ等の事例
株式会社アスタリスク　代表取締役社長　鈴木規之
（当工業会 DX 推進プロジェクト委員会　委員）
アパレル会社での RFID、人追跡の事例、うどん屋での人追跡や顔認証の事例、モール型店舗での従業員の顔認証入退館の事例など

ロス対策士情報と JEAS 報奨制度について　～各方面で活躍するロス対策士～

副会長　近江　元

　全国万引犯罪防止機構のロス対策士検定試験制度は、万引犯罪、内部不正、業務上のエラーなどを含む不明ロスについての実務的な知識を身に着けることを目的としたものです。

　今までに小売業、JEAS 会員など多数の方々がロス対策士の資格者となり、各分野でロス対策に取り組み始めています。

　さて、JEAS では、ロス対策士検定試験の受験を促進するために JEAS 会員企業に所属する資格試験合格者の方々への褒賞制度（図書カード進呈）を設けております。

　是非とも一人でも多くの方々がこの資格を得て、主要な顧客である小売業、特にチェーンストア企業に対して、ソリューションとしてのサービス提供につなげていただきたいと思います。

◆ JEAS 企業に所属する資格試験合格者への褒賞制度
https://www.jeas.gr.jp/pdf/20211129-1.pdf

◆ロス対策士検定試験は年 3 回予定されており、詳細は、全国万引犯罪防止機構のホームページをご覧ください。https://www.manboukikou.jp/exam-about/

☆新たな知識と情報を共有に向けたフェイスブックにてロス対策士のための専用コミュニティが好評です！
　フェイスブック上で「ロス対策士コミュニティ」と検索ください。

工業会 日本万引防止システム協会のご案内

　工業会 日本万引防止システム協会は、EAS 機器等の万引防止システムを製造・販売する企業の業界団体であり、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止という産業的・社会的役割を果たすべく、行政機関、関連業界団体とともに連携をとり活動しています。

■目的

　本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために、万引防止システムの円滑な普及・発展に資する制度・政策・計画等の建議と実行、行政機関・関連業界団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整、万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とする。

■会員の種別

（1）正会員

本会の目的に賛同して入会した次の企業および団体とする

●万引防止システム製造ないし販売している企業および団体
●今後、万引防止システムを販売ないし提供しようとする企業および団体
●万引防止に関連するサービスを提供する業界（警備業等）や関連業界（防犯カメラ設備等）に属する企業など
●万引防止システムを販売ないし提供する企業に対し商品や部品の供給事業を行う企業および団体

（2）賛助会員

本会の事業を賛助するために入会した次の企業および団体とする

●小売業に商品供給しているメーカーおよび物流企業
●小売業にサービスを供給している企業および団体

（3）特別会員

本会の目的に賛同し、協力をする団体会員

■会費

	年間売上金額	年間会費　万円
正会員　①	40億円以上	33
②	20億円以上、40億円未満	28
③	10億円以上、20億円未満	22
④	5億円以上、10億円未満	17
⑤	3億円以上、5億円未満	13
⑥	1億円以上、3億円未満	11
⑦	1億円未満	9
賛助会員		4
特別会員		無料

正会員の年会費は内部不正対策などを含むロス対策に関わるシステム販売、設置・保守サポート及びコンサルティングの年間売上金額に応じた年間会費になります。
※事業領域は万引対策だけではありません。

■入会条件、入会申し込みはこちらのサイトをご確認ください。　https://www.jeas.gr.jp/intro06.html

新規入会企業および団体を募っています。
◎万引防止システムを製造ないし販売している企業の皆様
◎万引防止対策を担当している警備業や防犯カメラ設備に属する企業の皆様

木村最高顧問就任のごあいさつ

この度、最高顧問に就任することになりました、弁護士の木村一輝です。私は、個人情報保護法の専門家（？）として、また、法律の専門家として、JEASの発展に貢献していきたいと思います。事業を行う上では法令遵守は当然であり、その観点からは、近い将来に個人情報保護法の改正が予定されています。近い将来、AIに関する法律が新たに制定されてもおかしくない状況です。さらに、事業者は、法令遵守以上の高い意識を求められており、事業者への期待がどこにあるのかを探り、行動する必要があります。そのような法令遵守、また、事業者への期待に応えるために、微力ながら努力して参ります。

編集後記・事務局だより

皆様、こんにちは。本誌をお手に取っていただく頃は、まだ寒さの厳しい時期かと存じます。3月にはセキュリティショーを控え、業界としても新たな動きに向けた準備が進むタイミングです。
さて、恒例のスポーツの話題から。
2026年シーズンでドジャース3年目を迎える大谷選手は、2年連続MVPという快挙を達成しました。同僚の山本由伸選手、佐々木朗希選手の活躍もあり、ドジャースは2年連続でワールドシリーズ制覇を果たしています。個の力とチームとしての総合力が結果につながった象徴的なシーズンでした。
こうした「進化と連携」は、いまJEASが重視しているAI活用の推進にも通じます。防犯・ロス対策分野においてAIは、研究段階を超え、現場での実装と運用が問われる段階に入っています。一方で、正しい理解と適切な運用、社会的信頼の確保が、これまで以上に重要となっています。
JEASでは、AIを単なる流行として捉えるのではなく、安心・安全を前提とした実効性ある活用を、業界全体で進めていくことを基本姿勢としています。工業会として知見を共有し、人材育成や情報発信を通じて、健全な方向性を示していくことが私たちの役割です。
本誌が、セキュリティショーでの展示や議論をより深く理解する一助となれば幸いです。
JEASは今後も、現場に根ざした視点を大切にしながら、業界と社会に信頼される活動を続けてまいります。

理事・事務局長　田丸典億

令和７年度　工業会　日本万引防止システム協会　役職一覧

№.	工業会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易（株）	事業開発室上席コンサルタント	稲本義範
2	副会長	（株）　三宅	代表取締役会長	三宅正光
3	副会長	NPO 法人 全国万引犯罪防止機構	理事　ロス対策士普及委員会委員長	近江　元
4	副会長	セフト HD（株）	代表取締役社長	山根久和
5	理事（政策・研究委員会）	IDEC ファクトリーソリューションズ（株）	セールスマーケティング本部 EAS 営業部部長	谷　義彦
6	理事（政策・研究委員会）	（株）キャトルプラン	代表取締役社長	佐藤圭三
7	理事（政策・研究委員会）	（株）セキュリティデザイン	営業副本部長	那谷幸平
8	理事（政策・研究委員会）	（株）店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
9	理事（政策・研究委員会）	日本電気（株）	スマートリテール統括部 コンシューマーエクスペリエンスグループ	摺田祐司
10	理事（政策・研究委員会）	ビブリオテカ・ジャパン（株）	営業部部長	松崎泰二
11	理事（総務委員会）	マイティキューブ（株）	代表取締役社長	本川勝広
12	理事（総務委員会）	（株）エイジス	コーポレート本部　事業開発アライアンス担当部長	米山英志
13	理事（総務委員会）	ＮＥＣソリューションイノベータ（株）	DX テクノロジー事業部門　生体認証・映像統括部　KAOATO グループ　主任	上野順子
14	理事（総務委員会）	（株）杏林社	代表取締役	清永浩史（新任）
15	理事（事務局長、技術基準委員会）	タカヤ（株）	事業開発本部ＲＦ事業部 営業部ＳＳ担当マネージャー	田丸典億
16	理事（技術基準委員会）	日本アクア開発（株）	代表取締役	豊島雄介（新任）
17	理事（カメラ画像安全利用推進委員会）	グローリー（株）	警送営業部	山本健二
18	理事（カメラ画像安全利用推進委員会）	（株）ＧｅｏＶｉｓｉｏｎ	副社長	周　采穎（Joy Chou）
19	理事（DX 推進プロジェクト）	日本 NCR コマース（株）	マーケティング本部マネージャー	井上謙二
	監事	Loss-Controls 株式会社	事業開発本部インダストー事業開発	森　雅裕
	監事	アクシスコミュニケーションズ（株）	シニアアカウントマネージャー（リテール）	森川真次

敬称略・順不同

最高顧問　木村一輝　丸の内総合法律事務所　弁護士（新任）

顧　　問　佐藤　聖　元（一財）元流通システム開発センター　調査部長
井出尊信　高千穂交易（株）代表取締役社長
前田　伸氏　会長補佐、CFE、CIA、元東芝プラントシステム（株）監査部・参事 / 参与（新任）
長岡秀樹氏　CIA（株）　代表取締役（新任）

令和７年度　工業会　日本万引防止システム協会　組織図

総　　会

監　事
森　　雅裕
森川　真次

理　事　会

会　長
稲本　義範

運営委員会
役付、顧問

事務局長
田丸　典億

最高顧問・木村一輝
顧問・佐藤　聖
井出尊信
前田　伸
長岡秀樹

副会長
三宅　正光
近江　　元
山根　久和

職業専門委員
雑賀真良　ほか

政策・研究委員会
摺田　祐司（委員長）
那谷　幸平
佐久間博之
谷　　義彦
松崎　泰二
飛永　泰男
佐藤　圭三

技術基準委員会
田丸　典億（委員長）
井上　哲也
多ケ谷高志
小嶋　賢一
兪　　偉軒
豊島　雄介
オブザーバー：
申居偉誠
西澤　文明

総務委員会
近江　　元（委員長）
上野　順子（副委員長）
米山　英志
本川　勝広
田中　　崇
清永　浩史
生駒　耕平
福田　幸一

カメラ画像安全利用推進委員会
三宅　正光（委員長）
山本　健二（副委員長・WG 長）
摺田　祐司
齊藤　寛夫
周　　采穎
田村　正樹

DX 推進プロジェクト
田中　　崇（リーダー）
井上　謙二（サブ）
鈴木　規之
古市　　健
野口勇人（主席アドバイザー）

交通機関と関連店舗の保安強化プロジェクト
豊田　孝志（リーダー）
砂川　和雄（サブ）
松山　雄武
西本　久信
小西　啓太

科学保安講習プロジェクト
青柳　秀夫（リーダー）
林　　俊一（技術長）
長岡　秀樹（アドバイザー）
山根　久和（総括指導）

個人情報管理室
稲本　義範（室　長）
近江　　元（副室長）
摺田　祐司（制度企画オフィサー）

防犯民主主義実現の旗の下 協働防犯への研鑽

工業会 JEAS 認定個人情報保護団体

EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会
工業会 日本万引防止システム協会

正会員 （正会員数 46社）

IDECファクトリーソリューションズ㈱
AWL㈱
アクシスコミュニケーションズ㈱
アースアイズ㈱
㈱アジラ
アドセック㈱
㈱エイジス
NECソリューションイノベータ㈱
エム・ケー・パビック㈱
企業警備保障㈱
㈱Casley Deep Innovations
㈱キャトルプラン
㈱杏林社
Dahua Technology Japan㈾
グローリー㈱
㈱KSM
㈱サイエンスアーツ
サクサ㈱
三和コンピュータ㈱
㈱JSS
㈱セキュリティデザイン
セーフィー㈱
CIA㈱
㈱GeoVision
セコム㈱
セフトHD㈱
ソフトバンク㈱
ダイワ通信㈱
高千穂交易㈱
タカヤ㈱
チェックポイントジャパン㈱
㈱店舗プランニング
日本アクア開発㈱
日本NCRコマース㈱
日本電気㈱
ネクストウェア㈱
HIKVISION JAPAN㈱
パナソニック コネクト㈱
富士通フロンテック㈱
ビブリオテカ・ジャパン㈱
HOUSEI㈱
マイティキューブ㈱
㈱マクニカ
㈱三宅
リアルネットワークス㈱
Loss-Controls㈱

賛助会員

㈱アスタリスク
亜細亜印刷㈱
㈱自己啓発協会
㈱セキュアリンク
三愛化成商事㈱
チェスコムアドバンス㈱
㈱NICCOサポート
㈱日本保安
㈱パトライト
㈱ボックス・ワン
㈱UACJ
㈱ロケット

特別会員

一般社団法人 ソフトウェア協会
公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO法人 全国万引犯罪防止機構
関西万引対策連合会
一般社団法人 リテールAI研究会
タグ&パック事務局
一般社団法人 ロスプリベンション協会

お陰さまで全会員数が67組織になりました。
（2025年12月12日現在）

JEAS委員会組織

カメラ画像安全利用推進委員会　委員長・副会長 三宅 正光

推奨顔認証システム
ステッカー

小売業や物流現場のカメラ画像の効果的な利用状況やセキュリティ対策を調べ、システム提供者側の販売指針を発表することで、カメラ画像の適切な利用促進に向けての環境整備を行う。平成28年度に「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め」を制作。令和2年に推奨顔認証システム制度をスタートさせた。

技術基準委員会　委員長・事務局長 田丸 典億

EASステッカー

平成20年10月、EASと医療機器との干渉試験を実施することになり、その方法等の内容を検討し実施するために、技術基準委員会が設置された。
①対ペースメーカー等との干渉実験
②電磁界測定　③電気用品安全法対応
④各種の基準作り

政策・研究委員会　委員長・理事 摺田 祐司

JEASとして、取り上げるべき問題・課題の検討を行い、その結果を委員会の責任において、行政機関・関連団体・報道機関等に対し建議および提言・アピールを行う。
調査研究事業として、わが国における万引防止システムの普及推進のための必要な調査研究及び会員の基礎教育を行う。

総務委員会　委員長・副会長 近江 元

工業会全般のスタッフ業務と工業会を司る。事務局と密接な関係を保ちながら主として次の業務を行う。会計、広報、渉外、規約の起案と見直し、他の委員会に所属しない業務を専門的に行う。国内情報・海外情報を広く収集し、必要に応じてそれらをとりまとめ、国の内外へ広報する。「15分間勉強会」や「業界で活躍する女性」が好評につきシリーズ化した。

理事会・運営委員会　会長・個人情報管理室長 稲本 義範（総合防犯設備士、公認不正検査士、万引き防止責任者養成講座担当講師）

速報！ イベント情報
詳しくはJEASの
Homepage＆Facebookにて

- 3／3（火） セキュリティショーセミナー
  「省人化店舗・セルフレジへの進化　セルフレジ意識調査報告書公開
- 6／5（金） 令和8年度通常総会　第2回プレゼン大会　職業専門家たちの新たな挑戦（予定）

JEASフェイスブック
ロス対策メルマガ
好評配信中！

工業会 日本万引防止システム協会会報第43号

□発行日：2026年2月11日　□発行人：稲本義範
□発　行：工業会 日本万引防止システム協会 事務局
〒160-0004　東京都新宿区四谷1-6-1　YOTSUYA TOWER 7階
TEL：03-3355-2322　FAX：03-3355-2344
ホームページ　https://www.jeas.gr.jp/
フェイスブック　https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/
メルマガ　https://www.jeas.gr.jp/mail.html
法人番号：9700150096387

ご相談窓口について

工業会 日本万引防止システム協会では、万引防止システム全般に関するご相談の窓口を開設しております。
ご相談窓口では、皆様からのEAS機器等の万引防止システムに関するご質問、ご相談、苦情などをお受けしております。
ご連絡先は、左記の工業会 日本万引防止システム協会事務局宛となります。